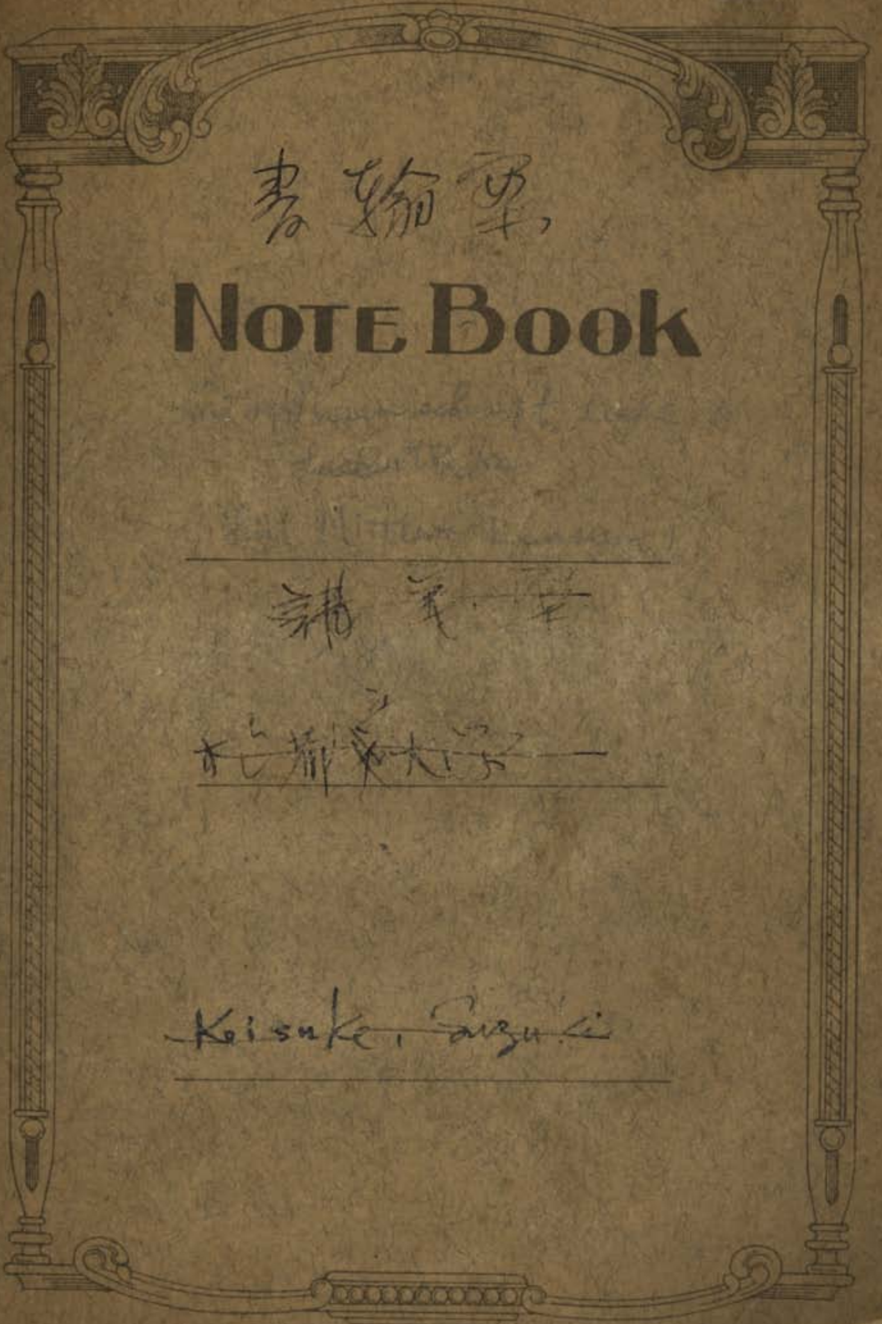
HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	書翰案 : 講義
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Description	資料作成年不明（システムの制約のため、発行日には没年を入力した）
Issue Date	1966
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77413
Type	manuscript
File Information	L032_01.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP



書翰案、

NOTE BOOK

講義案

京都帝大学

Keisuke, Suzuki

AB
6

STY
TOKYO

集まるが大抵四五人から六七人位までの出席者の位なり発展してゆく望み得けないまでもなつかも知れぬとも思ふのです。つとんなれぬでせうか。

地図

第二案

9月25日金曜日の夜本郷会出席

[illegible]か市政調査会でし弦精です。

加藤さんいゆる逸事申します。

村山君へ

その外全く特色依然として陳腐の位論もありません。唯私のビブリオグラフィーを年の末広げればなくぬ（り遂らしな）（伸ず）と二の三年程~~毎~~週に一回位は思ひ出して来たのです。

私が近年農村の研究から遠のいて此が都市の研究にひかれていることが根本の理由ですが、私が東京に来て以来農村研究の方面での文献協力者になって頂いている人にあまり（関係）親しんだのです。~~殆~~その人が作ってくれたのです。私は最初の一年位

もうすぐもうすぐと云ふ延期がつゞいたので

一、農村より都市へ

アメリカでの人ハ三分れ

小農人口の漸増

機関の~~出~~漸増

~~技~~未熟人口の漸増

直系家族型より夫婦家族型へ

義理より合理へ

永続的より~~無~~一回的へ

都市化と職業分化

消防団より消防署へ

人と人との関係より機関と機関の関係へ

聚落社会の概念

其なら先生には愈々御健勝の趣
欣幸至極に存じ上げます。
過日は尊稿の絵はり、野川
の下流の方面より尾瀬の路をみて
御難渋遊ばされし [illegible] を頂き
見え文の御様子に見つては嬉しく思い
はり安心致します。（尾瀬の [illegible] でございます）
私は今少し春になりますとはっとろし
寒さに負けまけし家の中に引き
こもりとなりたく様にして失礼して居り
ます。
御無沙汰過ぎて居れば申す事上げます
桜の花
先生の御活躍を深く楽しみに祈り上げます。

① In those days I informed you about my ~~on the~~ study ~~of~~ on Rural sociology. Afterwards I changed my post from Gifu Agricultural college to the Seoul University and ~~then~~ after that to Hokkaido University.

Proffessor Sorokin

I am afraid you have forgotten my name. While I lived in Gifu, before the war, I wrote you several times and received your litters. ①

~~so much~~ many.

While I was in Gifu Agricultural college, I studyed Rural Sociology. ~~But then after~~ But Afterwards I ~~had a position~~ was a professor in Seoul University ~~and~~ until the end of the war and after the my investigations ~~during~~ after the end of the war concentrated to (the study of) urban sociology.

0

~~was Hokkaido University.~~

I published "Principles of Rural Sociology" 1940, in which I owe many ideas to your books, for instance the concept ~~theory~~, ~~especially~~ ~~that~~ of 'commulative' ~~accumulated~~ community. ~~and that of social mobility~~.

Recently I published Principles of Urban Sociology, in which I am sorry I could not learn any from American human ~~soci~~ ecologists nor urban sociologists.

I am now sending you the summary of the ~~A~~ Principles of Urban Sociology. ~~the~~ The summary was ~~a~~ made for 'the Japanese Science Review' Vol. 10, just published ~~from~~ by the Science Council of Japan. 'The Japanese Science Review' ~~to~~, I think, is being sent regularly by the Science Council of Japan to ~~A~~ your university. And you can see in ~~the~~ Vol. 1 of the same ~~'Review'~~ ~~year book~~ ~~the~~ the summary of my ~~P~~ Principles of Rural Sociology.

I hope American urban sociologists might read my Principles of Urban Sociology, ~~e~~ which ~~is~~ contains many original ideas. The book is printed in Japanese, ~~which~~ I am sorry you can't read ~~understand~~. But if you will, I will gladly send it to you soon.

Last spring I retired from

ⓞ as I reached the fixed age of retirement.

the Hokkaido Universityⓞ

I live now in the suburb of

Tokyo, ~~giving lectures~~ at

~~stwo universities~~ in Tokyo.

enjoying scientific

~~re~~ ~~study~~ researches as ever.

其後は無沙汰申し上げ失礼
致して居ります。御変りなき事
と存じ上げます。
私は其後（お蔭様で）健康の調子甚だ
好調にてこの四月よりは
（東洋大学と都立大学に
顔を出す事になり）
少し講義も致す事になり
元気に起居致して居ります。
階段に昇る事も以前より幾
分楽になり息切れや心臓~~[illegible]~~
~~[illegible]~~の変調も気に懸る程度が
大分少くなり有難き仕合せ

んで居ります。何卒御よろしく

こい下され度く御傳へ申し上

目出けげます。近頃までてござゐます。

~~私の旧教宅の仲よに拙し~~

粗品少々御とゞけ致します。

御笑味下さい。

四月二十日

鈴木富吉郎

佐々木志郎様

二伸

seite 9. 19.

besonder 特別の, 非常の. 珍らしい im —(e)n 特に.
Fall -(e)s ¨e (男) 落下. 降下. 失敗 事情. 変化
~~zun~~ zunächst 副 スグ近くに (3格)の傍に

seite 10

relatively

As our living hauses
~~stand~~ stand continueing
~~to~~ from hauze to hause
and covers ~~within~~ ~~a~~ the site of a city,
~~and makes up a unity of~~
~~resident area of a city~~,
so the first livelifood-making area~~a~~s
will cover all the natural
area of a city.

As in the case of the first livelihood-making area, dayly activities of urban people are rather monotonous and repeated day after day on the same geographical area

Seite 42. 7. Der Magnetismus

昭和三十四年四月十三日野々と共に成
城に柳田先生を訪ふ。殆二十年振り
の面会なれば尽つきぬところなし多しながら
す。戦時戦後の時代を中にはさみ
ての面会なれば感慨多き話の外
多かりき。この山荘書斎は汎は当時の
は旧稿の一節を出して贈られしものなり
一首

340 Kakuto,
Komae-cho,
near Tokyo

April 25, 1959

Professor Carle C. Zimmerman
Emerson Hall
Cambridge 38, Massachusetts
U. S. A.

Professor Zimmerman: I received your letter of 8 April, 1959 with great pleasure and gratitude, and I excitement am very glad to hear that you are very active as ever. In the same letter you kindly asked me if I have interesting desire wishes to go to America enything

to see the American cities. I earnestly wish to ~~to~~ go to America to see everything in the American cities and others.

But I am very much sorry I can't travel a ~~so~~ long distance ~~so long a way~~, because I am too ~~so~~ old and not quite well. ~~my~~ my The blood pressure is a little high and my heart disease often troubles me.

Thank you very much for your kindness with which you asked me ~~about my~~ if ~~circum~~ circumstances permit me for my

Shortly after the end of the last war, I had # ~~(a position with CIC, scap, where I became acquented with)~~ △ Professor 7. Cluckhohn and Assistant Professor J. Pelzel of your university, proffessor Bamer's of Minesota Uni. and Dr. a. Raper of U.S. Dept. o Agri.

opportunities to ~~(know)~~ see △.

~~last spring~~

visitting America.

I have retired from the governmental university, but now I am giving lectures at the Toyo University and the Tokyo Municipal University.

With best regards and
Wishes I am
very cordially yours
Eitaro Suzuki

鎌田

過日は都市社会学研究会よりお手紙
により書面頂き有り難う存じますが
どなたかに相談して御返事しようと
思いましたがその機会がまだありません
し余り御返事がおくれては失礼と
存じ一応次の様に考へましたが

第一案

日曜日（九月27日）の午后拙宅に御
来駕願へれば私としては一番
好都合ですが、拙宅は少し都心か
ら遠すぎるし（新宿より~~画~~高田馬場
駅まで普通で~~三~~十分、駅より北に約十
分位外に私の宅（八畳）では少し
狭いし何のおかまいも出来ません
のでどうかと思って居りますか

集まりが大抵四五人から六七人位までの出席者の位なり参観しへゆ当り頂けないのもなかなか惜まれぬとも思ふのです。どんなものでせうか。

地図

第二案

9月25日金曜日の夜本郷学士会館か市政調査会で[illegible]です。

お取りきめ下さい。御返事御待ちします。

村山君へ

その後全く御無沙汰して陳謝の外もありません。御依頼のビブリオグラフィーを早くお送りしなければならぬとこの二年間~~毎~~週に一回位は思い出して来たのです。

私が近年農村の研究から遠のいて都市の研究にひたっているのが根本の理由ですが、私が東京に来て以来農村研究の方面での文献協力者になって頂いている人にあの関係と頼んだのですが、~~後~~その人が作ってくれなかったのです。（もうすぐもうすぐと返事だけで）私は最初の一年位

最初は（それから日本政府に）絶えず追ってたのんだのですが、その人も用事の許多い人である為作ってくれないのです。その人が作ってくれなかったのには出来る丈完全なものを作りたいと云ふ希望もあるからでせう。その人にたのむ事を止めて私自身でさがしはじめたのですが、どうも思ふにまかせないのです。特に学校が当日で利用にならるのであれば、日本の学界の名著を思ひ又私自身の名著も思ひ出来る丈権威ある本を作りたいと思ったのです。そんな気持ちでしらべてみたのですが、どうも適当なものがありませんよ。

① The Japanese Village in Transition

見当らず、立派なよい本は全く見当らない様な気がするのです。農村の組織は農地改革と共に大きな変化があった事はたしかであるが、その変化を学に経済の方面において丈ではなく社会生活の全側面において組織的に指摘している様な本がある筈ですが見あたらないのです。（私が期待しているものは実在しないのかも知れないのです）農業総合研究所以のものと村落研究会以のものとかそれに近いもの以外からですか、その外のものはどうもよく分らないのです。けれども私から云はせれば右の二つも村落構造するものと思っています。あれでは日本の部落の農村における改革は決して正しく表面されてはいないと思ふのです。

以「農村自治の変遷」（総研）

以「部落の変遷」「農地改革と農民運動」（村研）

近衛軍の本はその序文にもある様に私自
身もあの調査は計画通りなのですが、
は本当の考古学者はあゝかつてからです
私はまだ見ていませんがあゝ工様の
戦後について書かれたものと同じいい事。
これは米国でも容易に手に入るでせう。

藤田亮策先生には逝去
の報に接し哀惜の念切
なるものがあります。
謹んで御冥福をお祈り
致します。
乍失礼香料同封致し
ます

鈴木尚

藤田絹恵様